行政視察報告　第1班

平成21年7月13日(月)～15日(水)

(1)三重県伊賀市

★自治基本条例と議会基本条例

自治基本条例は、伊賀市の最高規範として独自の自治の方針を明らかにし、自治に不可欠な情報共有や市民参加の原則、住民自治の制度などを市民との協働によってまとめた。また、自治基本条例を制定することによって、議会のあり方を明文化するため議会基本条例を制定した。議会基本条例制定により実施されている事項は「議会報告会・市長等への反問権の付与・政策討論会・出前講座」の4点がある。以上のことから、緊張感のある市民に開かれた議会が実現した。

(2)岐阜県高山市

★合併後の行政改革の取り組みについて

合併により職員が大幅に増加したため、5年間の定員適正化計画を定め早急に定員管理の適正化に取組んだ。早期退職加算や再就職斡旋事業も実施したが、なかなか目標値に達することは困難である。

もう1点は指定管理者制度を導入し、すべての公共施設について「廃止・民間譲渡・直営」に分類した。ただし、直営については、その理由を明確にした。今後の課題は、現在、指定管理に出している施設の統廃合を、いかに行っていくかということである。

行政視察報告　第2班

平成21年7月15日(水)～17日(金)

(1)広島県三原市

★ケーブル回線を利用した防災システム

三原市は平成17年3月に対等合併をし、ケーブル敷設は山間部の3地区では合併前から事業に取り組んでおり、平成18年に完了している。世帯には高機能の端末機が設置されているが利用頻度は少ないと説明があった。一方、旧三原市は平成22年度までの完了を予定している。運営は、市営、民営、指定管理者制度が混合している。ケーブルの利活用は、山間部では災害・火災情報や緊急放送、市からは健康・交通・イベント情報を端末装置による音声告知放送を実施しているが、市街地である旧三原市内は端末機が整備されていない。既存の施設を利用することで経費も安くて済むことから、佐渡市においてもモデル的な地区を選定し、整備を進めることも可能と思われる。

(2)鳥取県鳥取市

★学校給食における地産地消の推進について

鳥取市は平成16年11月に近隣8町村と編入合併をし、平成17年には特例市指定を受けている。鳥取市全体の学校給食の地産地消率は県内産使用割合44・5％（佐渡市24％）だが大型の給食センター化になっていない旧町村地域では55％～70％と際立っている。

地産地消の取組みは、給食センター別の状況把握でなく地域単位で行っており、対象品目数も44（佐渡市24）と実態に近づけている。

＊次の表は、主食、麦類を除く野菜等の使用を比較したもの。（佐渡市はH17年数値、鳥取市H20値）

鳥取市と佐渡市の比較表

	地元産	県内産	国内産	外国産	計	備考
鳥取市（全市）	20.0%	25.0%	49.0%	7.0%	101.0%	20年度
佐渡市（一部）	15.6%	8.4%	76.0%	—	100.0%	17年度

市民厚生

本委員会へ付託された議案は、条例1件、一般会計補正予算（予備審査）、特別会計補正予算（国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、介護保険、歌代の里、すこやか両津、病院事業）及び財産の取得であり、審査の結果一部意見を付けて原案どおり可決しました。

(1) 国民健康保険及び老人保健特別会計補正予算について

後期高齢者医療、介護保険及び歌代の里特別会計補正予算については、人件費の確定及び前年度繰越金の計上等に伴うものです。

(2) 財産の取得について

公共施設の管理運営の見直しのため、畑野デイサービスセンターやわらぎの里の借地5574平方メートルを取得するものです。

(3) 病院事業会計について

繰入金の増額等に伴い、収益的収入に3543万円を追加、人件費の確定に伴い収益的支出から、912万4000円を減額するものです。また、資本的収支において他会計補助金等を7億68万円追加し、巡回診療車の購入のため車両購入費3222万2000円を追加するものです。

(4) すこやか両津特別会計について

人件費の確定及び施設の増床（9床）工事等に伴うものです。次の意見を付して原案通り決定しました。

〔意見〕

介護サービス施設整備事業中、設計管理業務委託料、200万円は業務の内容に比して高額であると思料するので、予算執行にあたっては分離発注等を含めて鋭意精査すること。また、工事請負費2889万4000円の一部に両津病院及び歌代の里に係る設備改修工事を含んでおり、これをすこやか両津の増床工事に起因するものと説明しているが、決して本会計において全額負担する根拠として得心できるものではない。よって、今後施設の改修工事等については、両津病院及び歌代の里との間に明確な負担基準を設けるなどして、応分に負担するよう申し入れる。

行政視察報告　第1班

平成21年7月15日(水)～17日(金)

(1) 長野県岡谷市

★期限内納税の徹底と滞納整理について

平成20年度から税の徴収強化を目的に、国税庁OBを徴収指導員として配置、一般的な公売の手続きを学ぶため東京国税局で研修する等の準備をし、自主納税の促進、納税手段や利便性の拡大を図るとともに悪質滞納者には差し押さえ等厳格な姿勢で望んでいる。

〔主な施策〕

・財産調査及び差押さえ等の滞納処分の実施、不動産物件の公売
・軽自動車の差押さえ公売、タイヤロックの購入
・県との共同滞納整理実施
・クレジット納付、コンビニ収納、買い物カード「おかぽん」による納付
・滞納整理月間の取組み、電話催告、夜間訪問徴収、広報車PR
・夜間・休日窓口
平日　8時から20時
土日　9時から17時

〔佐渡市が検討すべき事項〕

・納税相談体制（夜間・土日窓口、滞納整理月間）やコンビニ納付、買い物カード（ときカード）納付と国税OBによる研修会等

(2) 富山県富山市

★富山型デイサービスについて

小規模多機能をキーワードに高齢者・身体や知的障がい者・心身障がい児・乳幼児を同一施設で処遇するもので、平成5年3人の看護師から始まり、全国に拡大した。

〔事業の現況〕

・事業所は41、定員は646人。富山型（幼・老・障）は44%、経営主体はNPOが61%を占めている。
・行政の支援は施設整備への補助と年2回の事業者育成セミナーで運営費補助はない。
・このゆびとーまれでは、知的障がい者も役割を担い生き生きと働いていた。

〔佐渡市が検討すべき事項〕

・施設待機者の希望に応え介護の谷間を埋める施策として、また知的障がい者の居場所や雇用の場として、既存施設を活用した街中の小規模・多機能施設と事業者育成

産業建設

当委員会に付託された議案は条例3件、新たに生じた土地の確認について3件、字の変更について3件、平成21年度補正予算（一般会計予備審査を含む）4件、その他1件、陳情1件であり、審査の結果、一部意見を付け、いずれも原案どおり可決しました。

(1)佐渡市地産地消推進条例の制定について

佐渡市における地産地消の推進に関する基本理念を定め、地産地消の推進に対して市民の理解を深めるとともに、市、生産者、消費者及び事業者の役割を明らかにし、地産地消運動の推進、安全で安心な農林水産物等の供給、食育の推進等により、健康的で豊かな地域社会を形成することを目的とし、制定するものであります。本案は次のとおり意見が付きました。

〔意見〕

地産地消推進計画にあたっては、食育を推進するとともに、自給率向上のため、市民の意識高揚を図ること。

(2)佐渡市農林業基盤整備事業の助成に関する条例を廃止する条例の制定について

農林業の総合的な振興のため土地改良区等への助成について、内容等の見直しにより、廃止するものであります。

(3)佐渡市農山漁村交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について

都市との交流を促進し、農山漁地域の振興を図ることを目的とした地域間交流拠点施設である佐渡市農山漁村交流施設の設置について必要な条例を制定するものであります。

(4)団体営土地改良事業の施行について（石名地区）

平成21年度から実施予定の団体営土地改良事業基盤整備促進事業について、佐渡市が事業主体となり施行することについて、新潟県知事に協議し同意を得るために、土地改良法の規定により、議会の議決を求めるものであります。

(5)改正貸金業法の早期完全施行を求める陳情

審査の結果、採択すべきものとして決定しました。

行政視察報告　第1班

平成21年7月13日(月)～15日(水)

(1)福井県小浜市

★若狭おばまの食のまちづくりについて

小浜市では平成13年に全国で初めて「食のまちづくり条例」を制定し、食を起点として農林水産業や観光業の振興、環境保全、健康増進、福祉の充実、食育等幅広い分野の推進を図っている。特に「魚を使った食育が子供を変える」とのテーマで、若狭湾で獲れる豊富な水産物を中心とした子供達の料理教室、地場産食材中心の学校給食、成人向けの各種料理教室で故郷料理の献立普及など幼児から高齢者に至るまで、あらゆる世代の生活環境に応じた、さまざまな「生涯食育」を実施している。産業構造が類似し地産地消に取り組む佐渡市にとって学ぶべき点が多かった。

(2)兵庫県南あわじ市

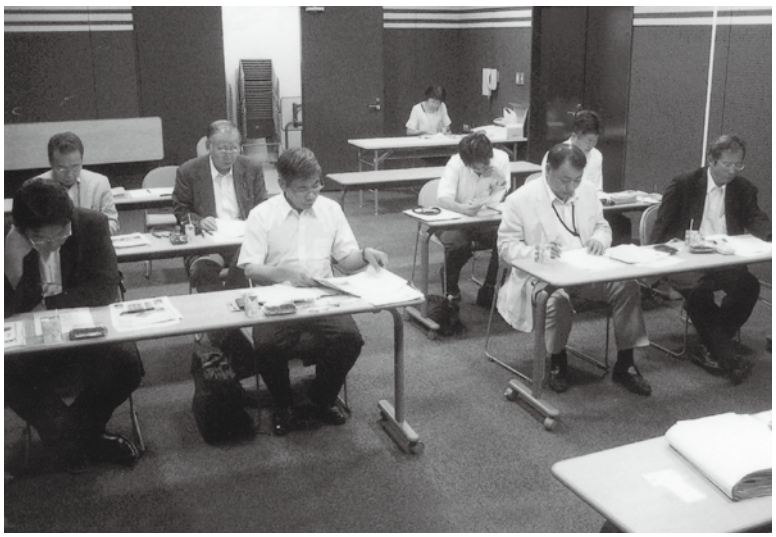
★淡路島の畜産振興について

淡路島の南部に位置する南あわじ市は、良好な地理条件と気候条件に加え高度な農業技術を生かして一大農業産地となっている。

特に水田や野菜との複合農業で発展してきた牛を中心とした畜産は、現在全国屈指の生産地に成長し専業化がすすんでいる。

酪農では「淡路島牛乳」などの乳製品は全国的ブランドに成長、肉用牛も計画的な血統交配により、神戸松阪等の高級牛肉の素牛供給を支えているばかりでなく「淡路ビーフ」のブランド名で脚光を浴びつつある。

その食肉処理の拠点施設「淡路食肉センター」の最新設備を見学し「佐渡牛」ブランド化の参考とした。



◆議会のうごき

7月　7日　行財政改革特別委員会
　　8日　総務文教常任委員会行政視察（～10日　三重県伊賀市、岐阜県高山市）
　　8日　議会報編集特別委員会
　　13日　産業建設常任委員会行政視察（～15日　福井県小浜市、兵庫県南あわじ市）
　　15日　総務文教常任委員会行政視察（～17日広島県三原市、鳥取市）
　　15日　市民厚生常任委員会行政視察（～17日長野県岡谷市、富山市）
　　22日　議会報編集特別委員会
　　23日　行財政改革特別委員会
　　27日　決算審査特別委員会
　　28日　行財政改革特別委員会
　　30日　行財政改革特別委員会
8月　6日　議員全員協議会
　　19日　行財政改革特別委員会
　　21日　産業建設常任委員会
　　26日　議員全員協議会
　　26日　決算審査特別委員会
9月3日～18日　　第5回定例会

◆行政視察来市状況

7月　1日　熊本県宇土市議会行政視察（準市民制度）
　　8日　埼玉県川口市議会行政視察（BDF、拉致問題）
　　8日　長崎市議会行政視察（航路利用促進補助制度）
　　9日　沖縄県糸満市議会行政視察（レーダー、ミサイル防衛関係）
　　14日　島根県出雲市議会行政視察（美しく環境にやさしい島づくりプロジェクト、トキ認証米）
　　15日　東京都三鷹市議会行政視察（国体への取組み、BDF）
　　16日　鹿児島県薩摩川内市議会行政視察（離島航路の現状と市の取組み）
　　16日　広島県廿日市市議会行政視察（地域新エネルギービジョン）
　　17日　山口県周南市議会行政視察（トキ保護対策について）
　　23日　青森市議会行政視察（合併効果と影響、観光誘客事業）
　　28日　大分県国東市議会行政視察（美しく環境にやさしい島づくりプロジェクト）
8月　4日　広島県尾道市議会行政視察（行政改革大綱、合併効果と影響）
　　18日　埼玉県狭山市議会行政視察（トキ保護、飼育の取組み）
　　19日　島根県出雲市議会行政視察（美しく環境にやさしい島づくりプロジェクト、トキ認証米）

議会の傍聴においでください

本会議は一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。傍聴の手続きは簡単で議場の傍聴席入口の受付で住所・氏名などを記載するのみで傍聴できますのでぜひ足をお運びください。議場は市役所佐和田行政サービスセンターとなりの佐渡中央会館内にあります。また傍聴席入口の受付に「傍聴アンケート」を設置していますので、市民の皆さんからのご意見・ご感想をお寄せください。

12月定例会のお知らせ

12月定例会は12月3日㈭に開会される予定です。本会議の様子を傍聴やテレビ中継でぜひご覧ください。

編集後記

議会制民主主義国家の中で唯一選挙による「政権交代」を経験してこなかった日本人が、自らの手で政治権力を作り出して、1か月政権交代のプロセスがない中で順調な滑り出しのように感じており、最近この政権交代を演出したのは「小泉純一郎」氏ではないのかと感じております。ここまで来る経過の中で、安倍・福田・麻生と首相が変わるたびに小泉改革とは反対方向にぶれ、元の官僚政治に戻って行く姿に待ったをかけたのは国民であり、劇的な政権交代を成し遂げた国民の目線は小泉改革の先を見据えているのではないだろうか。小泉氏が口走った「自民党をぶっ壊す」の先に、官僚組織の解体、新しい国創りがあったとすれば、皮肉にも民主党が進めている政治主義の改革は小泉改革の目指したものとなる。ともあれ、新しい国創りの現場に立ち会えることに興奮を覚えるとともに、その現場に立ち会えることは幸せと言っていいだろう。

表紙紹介

今年も真野活性化センター（いぶき21）において「くだものまつり」が開催されました。

真野・西三川地区は佐渡の中でも気候が温暖であり、果物栽培が盛んに行われており、地元で収穫された新鮮な果物の販売やりんごの皮むき大会などが行われ、多くの来場者で賑わいました。